

見どころ案内

エビネ(ラン科)

日本原産の地生ランで、塊茎がエビのように見えることから海老根といわれています。日本庭園の奥の静かな空間で、ひっそりと咲いております。

バラ園(バラ科)

御馴染みの四季咲き大輪バラを始め、原種やオールドローズ(鉢植え)まで花盛りで、バラ園全体がほのかな香りに包まれています。

ツツジ・シャクナゲ園

(ツツジ科)

高さ4~5mのシャクナゲが花盛り。斜面全体がにぎやかに彩られています。

ヒスイカズラ(マメ科)

フィリピン原産の絶滅危惧種。宝石の翡翠(ひすい)に似た色をしており、棚から蕾や花が垂れ下がっています。

ハンキングバスケット

カスケードに、赤、白のゼラニウム、ペチュニアなどを使った巨大ハンキングバスケットがお目見えしました。

ウラジロノキ(バラ科)

名は葉の裏が白いことから。この時期、山間部でも樹全体が白い花で覆われた姿がよく目立ちます。秋には小さなナン状果を枝先につけます。針葉樹園の斜面下の大木です。

ジャケツイバラ(マメ科)

広島近郊の山で枝一面の黄色い花を見かけたら本種であることが多い。園内では落葉広葉樹林へ下から登って振り返ると、勢いよく伸びた枝の上に黄色い花房をたくさん立ち上げています。お見逃しなく!!

トチノキ(トチノキ科)

広島の溪畔林で白い花を立ち上げ、なかなか間近に観察することができませんが、ここでは手に取るようにご覧いただけます。

ハリエンジュ

ハナエンジュ(マメ科)

道路の法面でも良く見かける白花のハリエンジュ、その隣の赤紫花のハナエンジュが春のハギ園で花盛りです。

ドイツスズラン

(クラスギカズラ科) ヨーロッパ原産で、日本のスズランより大型です。良い香りが漂っています。

ヤマボウシ(ミズキ科)

同じミズキ科のハナミズキに続いて、ヤマボウシも色付き咲き始めました。

ウケザキオオヤマレンゲ

(モクレン科)

トウオガタマの香りに気を取られて通り過ぎないようにお気を付けください。枝葉に隠れて崖っぷちに咲く姿は神秘的! 必見です!!

